

Yugo Nagata



永田 有吾 (Piano)

1989年兵庫県西宮市生まれ。4歳よりピアノを始め、16歳のときに交換留学の為、一年間滞在したアメリカでの経験を経て、ジャズに傾倒。帰国後、生田幸子氏に師事し、18歳のとき本格的に音楽活動始める。19歳で初めて自身のリーダーライブを行って以来、定期的に自己のバンド活動をする一方で、関西一円の様々なアーティストとも共演を重ねる。2011年JAZZ LAB. レーベルより、デビューCD「ゼニス・アンド・ナイター」を全国リリース。同世代のメンバーと全曲オリジナルで挑んだ本作は、「平成生まれのジャズ」として好評を博す。その後、Herbie Hancock(pf)との数々の名共演で知られる Eddie Henderson(tp)のツアー参加や、NYの第一線で活躍する Jonathan Powell(tp)と共演するなど、精力的に活動を広げている。2017年に平野翔子との双頭ユニット「asobiyoshi」を結成。2020年、コロナ禍で大きな打撃を受けるジャズシーンのために大阪でジャズカラバッシュを旗揚げする。



鈴木 孝紀 (Clarinet)

自身のユニット、鈴木孝紀 TRIO においてこれまでに2作のオリジナルアルバムをリリース。2019~20年には収録曲が企業CMソングに起用され年間全国放送。CDジャーナルをはじめとした国内オーディオ専門誌や、イタリアのJazzウェブマガジン”Jazz Convention”にCDのレビューが掲載される。編成のシンプルさを感じさせない奥深く響くサウンドと緻密なアンサンブル、限りなくアコースティックでノーブルな室内楽ジャズの世界を繰り広げている。2008年から自身のライフワークとして続けてきたクラリネットソロプロジェクトは15年目を迎えている。クラシック音楽を踏襲してきた鈴木ならではのウォームで芯のある音色とジャンルにとらわれないスタイルで、新たなクラリネット音楽の可能性と独自性を追求している。2018年には、キューバ・ハバナで行われた「日本人キューバ移住120年記念コンサート」へ派遣され出演。コンサートではキューバジャズを代表するサクソプレイヤー、セサルロペス(César López)とのステージを繰り広げた。大阪音楽大学特任准教授として教鞭をとり後進の育成にも携わり、学外での講座も複数行なっている。2022年にはオリジナル曲を収録した新アルバムをリリース。

Takamori Suzuki

6/29 Sun.

明治の洋館

JAZZ LIVE



開催場所 / 旧武藤山治邸 本館1階広間

演奏時間/13:00 ~ 14:10 参加費/2,000円(入館無料)

定員/25名(要予約・先着順) 申込み方法/電話又は旧武藤邸にて受付

ご予約 / お問い合わせ

10:00 ~ 16:30(月曜除く)

県立舞子公園 旧武藤山治邸

TEL 078-785-8610

月曜休館(祝日の場合翌日)

JR 舞子駅・山陽電鉄
舞子公園駅から南へ
徒歩約7分

神戸市垂水区東舞子町2051番

Access

